

GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議（第1回）

会議議事録

1. 開催日時

2025 年（令和 7 年）12 月 23 日（火） 11：00～11：45

2. 開催場所

横浜市役所 31 階 レセプションルーム

3. 出席者

別紙出席者名簿

4. 次 第

- （1）GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議の設置について……資料 1－1、資料 1－2
- （2）交通需要マネジメントの必要性 ……資料 2
- （3）交通需要マネジメントの今後の進め方 ……資料 3

5. 配布資料

- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・設立趣意書：資料 1－1
- ・「GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議」設置要綱（案）：資料 1－2
- ・交通需要マネジメントの必要性：資料 2
- ・交通需要マネジメントの今後の進め方：資料 3

6. 会議要旨

- ・「GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議」の設置について
 - 事務局より、資料 1－1 及び資料 1－2 の説明。
設置要綱の承認。（2025 年 12 月 23 日付）
 - 会長からの挨拶
- ・交通需要マネジメントの必要性について、交通需要マネジメントの今後の進め方について
 - 事務局より、資料 2 及び資料 3 の説明
- ・委員、協力委員、副会長からのコメント

7. 会議議事

(事務局 GREEN×EXPO 協会 上杉交通対策室交通対策部部長)

定刻となりましたので、ただいまより、GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議を開催いたします。

本日はご多忙の折、また年末の大変お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日の進行を務めます、GREEN×EXPO 協会の上杉です。どうぞよろしくお願いいたします。

最初に、本日の資料の確認をさせていただきます。議事次第、出席者名簿、配席図、資料 1－1、資料 1－2、資料 2、資料 3 の 7 種類となっております。不足がありましたら、事務局がお届けに参りますので、お申し付け下さい。

次に、本日ご出席の皆様をご紹介させていただきます。横浜市副市長、平原 敏英様です。神奈川県副知事、橋本 和也様です。横浜商工会議所副会頭、原田 一之様です。神奈川県中小企業団体中央会会長、森 洋様です。GREEN×EXPO 協会事務次長、小池 政則です。

また、国土交通省都市局大臣官房技術審議官、服部 卓也様をはじめ、官公庁、交通事業者、法人団体など、各方面の皆様にもご出席いただいております。ご紹介についてはお手元の出席者名簿にて代えさせていただきます。

なお、GREEN×EXPO 協会で交通アドバイザーとして輸送全般においてご助言いただいております神田 昌幸様にもご出席いただいております。

ここで議事に入る前に皆様にお知らせがございます。本日の会議には、報道関係者の方が取材に入っております。議事の様子や、皆様の発言・ご討議の内容が、各種媒体で報道される可能性がございますので、あらかじめご承知おきください。また会議の終了時刻につきましては、11 時 45 分頃を予定しております。

それでは、議事に入ってまいります。

議題 1 「GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議の設置」について、事務局より説明いたします。

(1) GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議の設置について

(事務局 GREEN×EXPO 協会 山田交通対策室長)

それではお手元の資料 1－1 をご覧ください。資料 1－1 は設立趣意書でございます。

1. 設置目的

2027 年に開催される 2027 年国際園芸博覧会（以下「GREEN×EXPO 2027」という。）の会場は通勤、物流等に係る交通需要が集中している地域に立地しており、GREEN×EXPO 2027 期間中においては来場者輸送と一般交通が交錯し、住民生活や経済活動が大きな影響を受けるおそれがある。その影響は横浜市及びその周辺のみならず、広範囲に及ぶことから、都市活動の停滞を生じさせないことが重要となる。

そこで、来場者輸送と一般交通を適切に共存させ、都市活動を支える円滑な交通の実現が図られるよう、GREEN×EXPO 2027 期間中の住民、企業等の交通行動変容を促す取組を経済界と一体となって検討する体制を立ち上げることが必要である。

このため、今般、横浜市、神奈川県をはじめ、GREEN×EXPO 協会、関係機関、関係自治体及

び経済界等が一体となって検討、調整する場として「GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議（以下「推進会議」という。）」を設置する。

2. 検討事項

推進会議は、次の事項について検討を行う

- ・ 一般交通と来場者輸送の共存に係る協力体制の構築
- ・ 交通行動変容に係る関係者間の調整及び合意形成
- ・ 交通行動変容の機運醸成に向けた取組

3. 構成員

推進会議は、会長、副会長、委員及び協力委員をもって構成する
それぞれの構成員は資料のとおりでございます。

続きまして、資料 1－2「GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議」設置要綱（案）をご覧ください。こちらにつきましては、先ほどご説明した設立趣意書の内容に則り、設置要綱として仕立てているものでございます。会長、副会長及び皆様の資料の名簿のとおり整理しているところでございます。

資料 1－1 及び資料 1－2 の説明は以上でございます。

（事務局 GREEN×EXPO 協会 上杉交通対策室交通対策部部長）

説明ありがとうございました。ご意見やご質問がありましたら、挙手のうえご発言をお願いいたします。

それでは、設立趣意書に基づき、GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議を設置させていただきたいと思いますが、ご異議はございませんでしょうか。

皆様のご承認により、本日を持ちまして「GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議」が設置されました。

設置要綱に基づき、平原副市長、橋本副知事に本会議の会長にご就任頂きたいと存じます。

ここで、会長のお二人からご挨拶を頂戴したいと存じます。はじめに、平原会長、よろしくお願い申し上げます。

（平原会長）

この度会長に就任いたしました、横浜市副市長平原でございます。年末のお忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。

GREEN×EXPO 2027 は「幸せを創る明日の風景」をテーマとして、環境とともに生きる社会を目指して、2027 年 3 月から 9 月までの 192 日間にわたり開催する予定となっております。横浜市はホストシティとして、ひとりでも多くのお客を迎えることができるよう、GREEN×EXPO 協会や神奈川県と連携し、様々な機会を捉えて機運醸成などに取り組んでいるところでございます。また、市民活動や企業の最新技術を結集しまして、地球にやさしい暮らしや GREEN な社会を多くの皆様に体験いただけるよう、出展の準備を進めているところでございます。今月の初めには入場券の価格や種類が公表されまして、いよいよ近づいてきたなということを感じていただ

いていると思いますし、我々も身を引き締めているところでございます。

多くの皆様にお越しいただき、EXPO を体験いただくためには、来場者輸送を充実させる必要があると考えており、現在 GREEN×EXPO 協会を中心に検討が進められているところでございます。一方で今回の GREEN×EXPO 2027 は大阪・関西万博とは異なり、市街地での開催となります。地域の皆様の経済活動あるいは生活があるなかでの開催となりますので、円滑な交通を確保することが重要なテーマとなります。横浜市では、交通円滑化に向け、会場周辺道路の拡幅や交差点の立体化なども進めておりますが、これに加えて日常的な交通の分散あるいは平準化を図る交通需要マネジメントが大きな鍵を握っていると考えております。本日で開幕まで 451 日となります。開幕に向け皆様と一丸となって交通円滑化の実現に向けて取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 GREEN×EXPO 協会 上杉交通対策室交通対策部部長)

ありがとうございました。次に橋本会長お願いいたします。

(橋本会長)

この度、平原副市長とともに会長に就任いたしました、神奈川県副知事の橋本でございます。大阪・関西万博の熱気をしっかり引き継いで、GREEN×EXPO 2027 をみんなで盛り上げ、みんなで創り、みんなが参加できる万博にしていきたいと考えております。

現在神奈川県では、屋外庭園や屋内での展示、環境をテーマにしたオリジナルミュージカルの準備を進めております。さらに今後主要駅におけるシティドレッシングや大型商業施設でのプロモーションなど県内全域での広報活動を強化するとともに、JR グループ 6 社様などと連携した「神奈川・横浜デスティネーションキャンペーン」にも取り組んでおり、全国に向けた広報を展開し、積極的な機運醸成につなげていきたいと考えております。

こうした万博そのものの充実や機運醸成は、関係者の皆様が既に様々な取組をされているところではございますが、併せてご来場いただく皆様が GREEN×EXPO 2027 を楽しんでいただくためにも、GREEN×EXPO 2027 に気持ちよく来ていただく、そして気持ちよく帰っていただくための取組が大変重要と考えております。平原会長からもお話がありましたが、今回の会場の主要アクセスはシャトルバスや自家用車が中心となることから、多くの方が来場を予定されている日には交通混雑が課題になるのではないかと考えております。この交通混雑の緩和に向けましては、本日お集まりの皆様のご理解、ご協力が不可欠であります。そうした意味でもこの会議が課題解決に向けて大きな役割を担っていると考えております。ここにお集まりの皆様と力を合わせ、知恵を出して交通混雑を解消し、来場者に気持ちよく、そして地域の皆様にも支えていただけるような GREEN×EXPO 2027 になるよう尽力して参りたいと思います。どうぞ本日はよろしくお願いいたします。

(事務局 GREEN×EXPO 協会 上杉交通対策室交通対策部部長)

ありがとうございました。

それでは、ここからの議事進行を、設置要綱に基づき、平原会長にお願いしたいと存じます。

平原会長、よろしくお願いします。

(平原会長)

ここからは私が議事進行を務めさせていただきます。

委員の皆様におかれましては、円滑な議事進行にご協力をお願いいたします。

それでは、議題2「交通需要マネジメントの必要性」及び、議題3「交通需要マネジメントの今後の進め方」につきまして、事務局から説明をお願いします。

(2) 交通需要マネジメントの必要性

(事務局 GREEN×EXPO 協会 山田交通対策室長)

資料2「交通需要マネジメントの必要性」をご覧ください。

始めにこれまでの振り返りにもなりますが、GREEN×EXPO 2027 の来場者輸送の概要について説明いたします。2ページをご覧ください。開催概要として名称、開催場所や開催期間について記載しております。このなかで参加者数として1,500万人というフレームを設定しております。様々な参加形態を想定しておりますが、有料来場者数として1,000万人以上と設定しているところでございます。

3ページをご覧ください。こちらは来場者輸送の概要でございます。192日間の開催期間における来場者数として、先ほど申し上げた有料来場者数1,000万人に余裕を持った輸送を実現するために1,200万人を想定した計画を策定しております。地域別の来場者数であります。関東圏は非常に大きなポテンシャルを持っておりますので、関東圏から9割、そのなかでも開催地の神奈川県内は4割と想定しております。また日別の来場者数は季節や曜日により繁閑があると想定し、192日を4ケースに分類しております。特にお客様が多い繁忙期の来場者数については、輸送基本計画に定めている設計基準来場者数のとおり1日あたり10.5万人お越しになると計画しております。

4ページをご覧ください。会場までのアクセスとしては、先ほど両会長からもご説明いただきましたが、会場直結の鉄道が乗り入れておらず市街地での開催となるため、近傍の道路を使ったアクセスということになります。公共交通を使った場合には、近傍の4駅からのシャトルバスあるいはタクシー、それから主要ターミナル駅からの直行バスも検討しております。そうしたことを踏まえると、会場近傍4駅付近や会場近傍を通っている東名高速道路や保土ヶ谷バイパスなどの主要な幹線道路に少なからず負荷がかかることを考えていかなければならないと認識しております。

5ページをご覧ください。こちらは交通機関別の分担になります。先ほど4ケースに分類したと申し上げましたが、そのケースごとに各交通機関の分担を万人/日でお示ししております。右の図においては、一番お客様が多い繁忙期における交通機関別の分担を図示しております。例えば公共交通機関は4.4万人を想定しておりますが、そうした方々が鉄道で最寄りの4駅にお越しいただき、そこからシャトルバスあるいはタクシーをご利用になる、また瀬谷駅であれば徒歩でお越しになるということで計画をしております。

6 ページをご覧ください。こちらは1日の時間帯別入退場予測でございます。ご覧いただくまでもありませんが、朝方は来場される方が多く、夜になればお帰りの方が集中するといった内容になります。一方で中間の時間帯についても、お越しになる方及びお帰りになる方が一定程度おり重複する時間帯があるとも想定しております。

8 ページをご覧ください。両会長からもご紹介いただいたとおり道路に着目して進めていく必要があります、交通量の推計を行っているところでございます。4つのグラフを記載しておりますが、それぞれ会場近傍の八王子街道や環状4号線の交通量となります。白い部分が現況交通量、GREEN×EXPO 2027が始まると水色の交通量が上乗せになるというものになります。ピンク色と赤色の横線が引かれておりますが、それぞれ現況の時間最大交通量と拡張後の交通容量を示したものととなります。この容量に着目するとGREEN×EXPO 2027の交通量が上乗せとなることで、道路の環境が厳しくなる時間帯が発生することが懸念されます。

9 ページをご覧ください。こちらは想定される主な混雑を示しております。左半分の図面は会場周辺の車の旅行速度を色別で示しております。黒や赤は速度が出ていない箇所でございます。これに対して右半分の図面にお示しするように、横浜市を始めとした道路管理者の皆様は道路改良等の様々なご対応をいただいているところでございます。

10 ページをご覧ください。こちらは道路管理者様にご対応いただいている会場周辺のハード対策の内容になります。来場者輸送における非常に重要な工事を進めていただいているところでございます。

11 ページをご覧ください。こちらは鉄道に関する部分となります。大阪・関西万博と異なり、会場直結の駅はございませんが、会場近傍4駅までは鉄道をご利用いただくことになるため、現在の各鉄道事業者様の混雑具合に、GREEN×EXPO 2027のお客様が加わった場合にどうなるのかについて、鉄道事業者様にご協力いただき簡便に予測してみたところでございます。繁忙期においても混雑率は100%程度に収まっておりますが、全てのパターンを表現できているわけではありませんので今後多面的な検証も必要になってくることも考えております。あるいは混雑率のみならず、横浜駅や新横浜駅といった乗り換え動線が輻輳するような場所の検証も必要になってくることも考えております。

12 ページをご覧ください。道路や鉄道の現状を認識したうえで、今後検討していくことを記載しております。まずは問題意識を共有するための削減目標値を設定し、どのような取り組みを行っていくのか整理しながら、企業や住民の皆様にとどのような呼びかけ、お願いを行うのかを検討していきたいと考えております。

以上が議題2「交通需要マネジメントの必要性」のご説明となります。

(3) 交通需要マネジメントの今後の進め方

(事務局 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進部 西岡担当部長)

引き続き議題3「交通需要マネジメントの今後の進め方」を説明いたします。

資料3「交通需要マネジメントの今後の進め方」をご覧ください。

1 ページは、皆様にイメージいただくために、大阪・関西万博の取り組みを事例として記載し

ております。大阪・関西万博は4月13日から10月13日まで開催されましたが、TDMを実施しているところでございます。特に混雑する期間において、混雑区間の鉄道や道路における交通混雑回避行動への協力呼びかけがございました。

削減目標値を設定し、移動量・削減量を削減する取り組みや配送量を削減する取り組み、混雑する時期・時間帯を回避する取り組み、交通混雑を避けた場所・ルートへの変更の取り組みを行ってまいりました。また、TDMパートナー登録制度において、協力いただける企業様へのインセンティブを用意しながら取り組んでまいりました。企業への呼びかけとして説明会や個別訪問、一般の方への呼びかけとして鉄道・道路・公共施設・WEB・タレントを起用したテレビCM等で広報も実施してまいりました。他にも会期末1年前に参加促進や課題把握のためのTDMトライアルを実施してまいりました。

2ページをご覧ください。こちらは今後の進め方(案)でございます。GREEN×EXPO 2027の開幕に向け、TDMの取り組み内容を検討して段階的に実施していくことを考えているところでございます。幹事会を設置しまして、1月には削減目標値や取り組むメニューの具体的な内容について議論していきたいと思っているところでございます。GREEN×EXPO協会が設置している輸送対策協議会とも連携しながら、検討の進捗状況に合わせ、重要な節目で本会議を開催していきたいと思っているところでございます。本日が円滑化推進会議になりますが、これ以降に実施内容の検討を行い、トライアルを行っていききたいと考えてございます。また、トライアル結果等を踏まえて内容を検討・実施し、GREEN×EXPO 2027開催期間中は強弱をつけながらTDMを行っていききたいと考えているところでございます。交通円滑化推進会議と幹事会については、開催日時等を今後決めていきたいと考えております。また、企業の関係者の働きかけ、住民の働きかけ等も今後予定しているところでございます。

説明は以上となります。

(平原会長)

ありがとうございました。ご意見、ご質問がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いしたいと思います。

それでは、横浜商工会議所の原田副会頭からご発言いただければと思います。

(原田委員)

横浜商工会議所のGREEN×EXPO 2027推進協力委員会を担当しています原田でございます。私自身も交通事業者の一人ですので、非常に関心がございまして、何としても成功させなければいけないと思っております。本日新しい会議体が立ち上がって、交通の円滑化に向けての協議をスタートできたことは非常に大きな成果だと思っておりますし、これから具体的に色々な検討が進んでいくかと思っておりますので、商工会議所としてもしっかりと応援させていただきたいと思っております。以前にも商工会議所に来ていただいて、GREEN×EXPO協会から交通の問題を説明していただいたことがございました。その時も、非常に丁寧に様々な施策を打っているということをお願いいたしました。中心となる西部支部の人たちが地元として経済活動、自分たちの仕事が滞らないこと、物流や日々の通勤などを非常に心配されており、GREEN×EXPO協会の小池次長

から説明していただいて、非常に安心していただいたということでございました。ただ、まだ実は心配事はたくさんあり、本当にスムーズに渋滞が解消できるのかどうかということは懸念されると思います。そういった意味では、やはり地元への説明において、「しっかりと対策を協会・市としても検討するので協力をお願いします。」というようにしていかないといけないと考えております。「皆さんが協力していかなければならないんです」ということではなく、「我々がしっかりと対策を行っていきますが、そうは言っても輻輳するので、なんとか協力をお願いします。」そのような姿勢が重要だと思っております。今日の会議は今後そのように進んでいくとよろしいのかなと思っております。

今日の会議には神奈川県警の方も来ていただいておりますが、やはり実際に交通の問題になると、現地の問題は神奈川県警のご協力が一番大きいと思っております。信号規制もそうですし、事故が起きた後の対応等で神奈川県警に具体的に動いていただかないといけない思っております。鉄道も様々な事故がありますが、神奈川県警ともっと連携していくということが非常に重要なと思います。

今日の資料の中でも懸念しているのは、自家用車分担率が高い点です。パークアンドライドも含めてピークで1万台（3万人）の自家用車ということですが、自家用車が1万台（3万人）はイメージが湧きません。私も近所に住んでいることもあり、よく知っているのですが普段から結構渋滞をしております。その状況で1万台（3万人）が増えるということは、ちょっと私は想像が付きません。ただ、様々な対応をしていただいておりますので、その分が減った上での1万台（3万人）となると思います。このような自家用車の問題も、本当にそのまま上乘せしてよいのかということを考えなければいけないと思っております。

雑駁な話になってしまいましたが、この会議で一つ一つの課題を解決して、開催期間中は円滑な交通となり、安心して来場いただけるような体制ができればと思っております。

以上でございます。

（平原会長）

ありがとうございました。

市民生活、それから経済活動についてまだまだ不安をお持ちの方が大変多くいらっしゃるというご指摘だと思います。これから詳細な検討が進むわけでございますけれども、順次、検討の進捗状況に応じて地域へ丁寧に説明していくということが協力を得られるための大前提だということをご指摘いただいたと思います。事務局としてもしっかりと受け止めて、検討につなげていきたいと思っております。

神奈川県警の方には、現場の最前線で様々な対応に当たっていただくということになりますので、引き続きご協力をお願いしたいと思います。

自家用車の推計が多い点に対するご心配もいただきました。そのような点も含めてのTDMというように思いますので、しっかり検討し、円滑な交通を確保できるようにというご指摘だと思いますので、事務局はよろしくお願い申し上げます。

本日は、協力委員として国土交通省から、大臣官房技術審議官、服部様にもご出席いただいておりますので、この機会にご発言があればよろしくお願い申し上げます。

(服部協力委員)

GREEN×EXPO 協会や横浜市を中心にハード対策等を対応いただいているところですが、やはりこれらを最大限に生かすためにも、交通需要マネジメントという取り組みが大変重要だと我々は考えてございます。また、原田副会頭のお話にもありましたが、この TDM を成功させるためには、企業様、そして周辺だけに限らない住まわれている方々の行動をいかに変化させることができるかということが極めて大事となります。また、その際には分かりやすく説明をすることが大事です。これから GREEN×EXPO 協会を中心に、例えば交通需要予測の精度をさらに上げていくというようなことですか、各企業様、そして周辺の皆様方に、TDM はプラスになるというような取り組みを行うためにも、この検討会の様々な検討結果を様々な形でアピールできるようなことに取り組んでいただければと考えてございます。国土交通省としても、本年 10 月には事務次官をトップに将来の体制もきっちりと構築をし、この輸送対策も含めてしっかり体制強化を図ってございます。この交通の円滑化は、GREEN×EXPO 2027 を成功させるための非常に大きな条件と我々考えております。

我々も精一杯しっかり関わっていきますので、ぜひ皆様方の協力を強くお願いをして、私からのお話とさせていただきます。

(平原会長)

ありがとうございました。
他にございますでしょうか。

(森委員)

神奈川県中小企業団体中央会会長の森でございます。一言だけコメントさせていただきたいと思います。

GREEN×EXPO 2027 は、開催期間が半年と大変長期にわたります。1,000 万人を超える来場者が想定される状況だと思いますので、県内の経済、あるいは中小企業への波及効果が大変大いに期待ができると私ども思っております。

一方で、繁忙期には 1 日に 10 万 5 千人の来場者が見込まれるということでございますので、来場者の輸送手段の確保はもとより、周辺道路を中心とした交通渋滞、あるいは鉄道交通機関の混雑による県民生活への影響をできるだけ抑制することが求められるのではないかと考えています。こうした課題に取り組むためには、本日のこの交通円滑化推進会議が設置されたことは大変意義があるのだというふうに私ども理解をしております。まず、会場へのアクセスに関する情報提供、もとよりどのような影響が想定されるのか、そして県民あるいは事業者に対して交通渋滞・混雑の緩和にどのような協力をしていただく必要があるのかなどを、わかりやすく呼びかけることが大切ではないかと考えております。私ども神奈川県の中小企業団体中央会としても、円滑な交通の実現のために、約 800 の会員の組合、そして組合参加の企業がございまして、それを通じて県内の中小企業に積極的な協力を呼びかけていく次第でございます。

GREEN×EXPO 2027 の成功に向けて、皆さんとともに取り組みを進めていきますので、どう

ぞよろしく願い申します。

私からは以上でございます。

(平原会長)

ありがとうございました。

もう少し広い視点でのご指摘だと思います。どちらかというと、前向きにご協力いただけるというご発言だと思いますので、引き続き検討を進めながら、また具体的なお話をさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

それでは、最後に小池副会長からお願いします。

(小池副会長)

GREEN×EXPO 協会 事務次長の小池でございます。本日はこの TDM の推進会議に皆様お集まりいただき本当にありがとうございます。活発なご意見が出たと思っております。GREEN×EXPO 2027 でございますけれども、市役所のフロアにもございますようにあと 451 日と本当に目の前に迫ってまいりました。

今日も事務局からご説明がありましたように、輸送については様々な対策、例えば横浜市の道路の拡幅や立体化等を進めていただいておりますが、渋滞が生じてしまうなど課題がございます。また鉄道につきましても、輸送力は大丈夫だという点がありますが、そう言っても乗り換え駅、特に横浜駅、新横浜駅等での誘導が必要になってまいります。そういったことも含めまして、特にこの GREEN×EXPO 2027 は市街地の中での開催になりますので、住民の方、企業の皆様、そういった方々のご理解が必要でありますし、ご協力が必要であります。そういった対策を議論するのが、この交通円滑化推進会議になりますので、引き続き活発にご意見をいただきながら、我々協会としてもしっかりと取り組んでいきたいと思っております。大阪・関西万博が大盛況で成功しまして、次はこの GREEN×EXPO 2027 と皆様の注目が集まっていることを我々協会としても肌で感じております。やはり成功させるためには、輸送計画がしっかり成立することが一丁目一番地だと考えていますので、ぜひ皆様方のご協力をいただきながら取り組んでまいりたいと思います。GREEN×EXPO 2027 の開催前、開催中含め、様々な情報発信等をしっかりと取り組んでいきたいと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

(平原会長)

ありがとうございました。

詳細な対策の検討はこれからでございます。引き続き、ご出席の皆様のご協力をお願いいたします。まして、会議を終了したいと思います。

それでは、進行を事務局にお返しします。

(事務局 GREEN×EXPO 協会 上杉交通対策室交通対策部部長)

平原会長ありがとうございました。

最後に事務局から事務連絡がございます。よろしくお願いします。

(事務局 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進部 西岡担当部長)

先ほどの議事でもご説明したとおり、設置要綱に基づきまして、交通円滑化推進会議の下に幹事会を設置し、その中で具体の検討をしていきたいと思っているところでございます。幹事会の開催については、事務局から各組織の窓口の皆様へ別途ご案内いたしますので、お待ちください。

また、来年の中頃には本会議の第2回を開催し、皆様にご議論いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務連絡は以上です。

(事務局 GREEN×EXPO 協会 上杉交通対策室交通対策部部長)

ありがとうございます。

それでは、これをもちまして、第1回 GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議を終了させていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

以上